

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員
西野さち子です



“安全な原発” はひとつもない!! 撤退へ力をあわせよう!!

自民・民主
公明・みんな

余熱利用センター存続の請願を不採択!!
たった2回の審議で強行は許せない

7月5日のくらし環境委員会で醍醐地域の皆さんから出されていた請願が審査されました。2回目の審査で、この請願で一度も質問さえしていない伏見区選出の議員もおられますから、まだまだ議論がつくされたとは言えません。西野さち子市議が「お風呂と図書館が残されることは請願の成果で歓迎する。プールを残してほしいという声もあるので、不採択にせず請願者と陳情にするかどうか相談したい」との提案にも関わらず、2回目の審査で不採択にするという異常な判断が強行されました。日本共産党以外の議員は全員不採択に賛成しました。

原発はいらない!!! 市内網の目平和行進伏見入り



7月9日、真夏の強い日差しの中、今年もまた、伏見の網の目平和行進が行われました。西野さち子市議、ばばこうへい府議、石村かず子3区代表をはじめ、醍醐地域からも多くの市民が参加をされました。伏見港公園を出発し、大手筋商店街の中を通り御香宮の鳥居前で一休み。そして藤の森神社から東福寺へ。原水爆禁止世界大会の成功と危険な原発からの撤退を求めている行進、ご苦労様でした。

できるか? 原発ゼロプログラム シンポジウムに110人が参加



呉竹文化ホールの創造活動室で、日本共産党の原発シンポジウムがひらかれ、西野さち子市議が参加しました。

会場いっぱい参加者で、会場からの発言も、時間切れになるほどの盛り上がりでした。

井上哲参議員の基調報告では、「福島原発は今年の3月26日で40年目だが、政府は2月末に稼働をOKした。日本共産党は、日本で原子力発電を続けることあまりに巨大な危険を考えるならば、できるだけすみやかに原発から撤退することが強く求められると提言している。」そして「日本の資源力は太陽光、中小水力、地熱、風力だけでも20億キロワットあり、原発54基の発電能力の約40倍です」と訴えました。ご一緒に原発ゼロへ足を踏み出しましょう!

森を守るビニール巻き

ナラ枯れ対策

暑い中、日野の山を守ろうと地域の皆さんの努力が続けられています。西野さち子市議も参加して汗を流しました。努力の甲斐あって被害木に芽が出ているものや、虫の侵入を防いでいた、樹液を出して木が自ら虫に勝っているものなど、



成果が見えてきて、みんな喜びました。皆さんもぜひご参加を。

